

「図書館にインターネット環境の整備を」

私は、こども議員の海田西中学校 菅彩花です。

私が町へ要望することは、「海田町立図書館と学校図書室に、インターネット環境の整備」をすることです。

私は、生徒会執行部で図書委員長を務めています。このことから町立図書館の利用について、興味を持ち、図書館職員の方にインタビューをしました。その結果、町立図書館は、蔵書数や設備もたいへん充実していますが、課題もあることがわかりました。

年々利用者数の減少が見られ、特に昨年の利用者数のうち、小中学生の利用が全体の 19%であり、少ないことがわかりました。また、利用目的について、小中学生は、調べ学習のための来館や自習室の利用が多く、貸出冊数がなかなか増えない課題があると、教えていただきました。

さらに私は、西中の 1 年生から 3 年生約 200 人に「町立図書館」の利用状況と「読書活動について」アンケート調査を実施しました。

そこから明らかになったことは、

町立図書館を利用したことがある生徒は、約 61.9%でした。その内、4 月～6 月の間に利用したという人は約 20%で、利用する目的については、本を借りる以外に、「調べもの」や「勉強をする」という人が多かったということがわかりました。

町立図書館の長所として、「幅広いジャンルの本が置いてある」「マンガや DVD が置いてある」「座ってよめるスペースがある」。その中で、「静かで、集中して、読書や勉強に取り組める」という意見は多くの方が回答していました。

短所として、「新刊の本やマンガが少ない」「家から遠いのでなかなか行かない」「閉館時間が早いため、学校から帰って自習をすることができない」などの意見がありました。

これまで利用したことがない人は、もしも利用するのであれば、「勉強できるスペースがある」ことや、「インターネットにつながるパソコンがあること」を希望するという人が、一番多かったことなどが明らかになりました。

また、「4月～6月の間でインターネットを使って調べものや勉強をしたかどうか」を質問すると、利用したという人が全体の約92.1%でした。このことから、私たちにとって、インターネット環境は、学習を進めていく上で、必要不可欠であるとわかります。西中では、NIEなど、新聞を活用した学習に特に力を入れ、図書委員会の活動としても新聞を積極的に活用しています。

しかし、町立図書館と学校の図書室には、過去の新聞の記事を探したり、関連する記事を検索するデータベースなどは利用できません。

町立図書館では、ホームページから、蔵書の検索、利用状況の照会や本の予約などができます。しかし、町立図書館や学校の図書室には、現在インターネット環境が整備されておらず、利用者が使うことのできるパソコンも設置されていません。広島県立図書館や広島市立図書館はもちろん、安芸区図書館にも1台ですが設置されています。だから、私は、町立図書館にもインターネットの環境は必要だと強く思います。

学校では、教科の授業はもちろん、「総合的な学習の時間」や「夏休みの科学研究」、「統計グラフコンクール」への出品など、インターネットを活用する場面はたくさんあります。図書室でインターネットが利用できれば、開館日に手軽に利用できます。さらに司書の先生から、図書館の本の利用と合わせて、インターネットを使いながら、よりよい学習のアドバイスをいただけるのではないかと思います。町立図書館では、さらに詳しく学習の相談ができると思います。

また、町立図書館の小中学生の利用目的が、「調べ学習」や「自習室の利用」などが多いことは、貸出冊数を増やす視点からは課題ですが、利用目的にあわせ、そのための環境をさらに充実させていくことも、大切なのではないのでしょうか。

図書館へのインターネット環境の整備は、利用者の視点、私たち中学生にとってぜひ必要であり、利用者数の増加にも繋がるのではないかと思います。

以上のことから、私は「町立図書館」と「学校図書室」へのインターネット環境の整備を要望します。

【再質問】(予定)

海田町立図書館では、小中学生の利用者数をふやすために、どのような取り組みをしてきましたか。